

【ポスター発表】

滞日外国人障がい者への生活支援における課題

—障害年金に焦点をあてて—

○ 関西福祉科学大学 柿木 志津江 (4238)

寶田 玲子 (関西福祉科学大学・8589)、木村 志保 (関西福祉科学大学・5949)

〔キーワード〕 滞日外国人、障がい者、障害年金

1. 研究目的

法務省によると、2014年末における在留外国人数は2,121,831人であり、新しい在留管理制度が導入されて以降、増加傾向にある。

ところで、日本における滞日外国人障がい者については、その数からみて制度的対応の必要性が感じられない状況だったことや、他領域での対応が行われてきたことを理由に、福祉領域で捉えられることは少なく、専門職は客観的なデータや情報なしにこれらの人々の支援に取り組んできたことが指摘されている（社団法人日本社会福祉士会 2012）。

そこで、本研究では滞日外国人障がい者への生活支援における課題、特に障がい者の生活を支える上で重要な役割を果たす障害年金をテーマに検討を行う。

2. 研究の視点および方法

まず障害年金について、文献を参考に滞日外国人への適用について把握した。またその適用がなされない、いわゆる無年金障がい者に対して各自治体が行っている対策について各自治体のホームページを通して確認するとともに、今後の課題について考察した。

3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会の「研究倫理指針」に基づき配慮した。

4. 研究結果

(1) 滞日外国人への年金制度の適用

1982年の難民条約の批准によって、国民年金法の国籍条項が撤廃された。すなわち、国籍を問わず国民年金の適用対象となった。しかし、1982年1月1日時点で20歳を超えていた滞日外国人障がい者は対象外となったままである。また、国民年金の適用対象であることと実際に加入しているかどうかは別問題である。受給資格期間が最低25年であるため（「公的年金制度の財政基盤及び最低保障機能の強化等のための国民年金法等の一部を改正する法律（年金機能強化法）」により、受給資格期間は2014年4月に25年から10年に短縮される予定）加入しても保険料が掛け捨てになることから加入しないケースや、厚生年金については適用除外のケースもある（二階堂 2004）。

(2) 滞日外国人無年金障がい者への対策

滞日外国人無年金障がい者に対して給付金制度を設けている自治体がある。要件や金額等をホームページで確認できる自治体についてみると、その対象や支給金額についてさまざまであることが明らかとなった。対象としている障がいについては、身体障害者手帳または療育手帳所持者のみとしている自治体や、これらの人々に加えて精神障害者保健福祉手帳所持者を含めている自治体があった。障がいの程度については重度の障がい者(身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級)のみの自治体や中度の障がい者(身体障害者手帳3級、療育手帳B、精神障害者保健福祉手帳2級)も対象としている自治体があった。金額については月額20,000円から76,887円と開きがみられた。

5. 考察

障害年金は、障がいのある状態になった時に経済的に生活を支える重要な制度であるが、適用されない、あるいは適用対象であっても加入していない滞日外国人の存在が示唆された。適用外であるため無年金状態にある滞日外国人障がい者を対象とした給付金制度は、各自治体による取り組みであることから、すべての自治体で実施しているわけではないことや、自治体により支給要件が異なることが確認された。その金額についても、障害年金と比べると生活を保障するには不十分であるところがほとんどであった。

滞日外国人の労働は不安定であるため(二階堂 2004)、無年金状態の滞日外国人が職を失った時に、たちまち生活困窮に陥ることが懸念される。滞日外国人の労働あるいは保険加入状況の実態が明らかではないことから(西村 2007)、まずは実態把握が重要な課題であるといえる。

さらに、滞日外国人の障害年金の問題については、これまで述べてきたような制度的な視点からとらえるだけでは不十分であるといえる。例えば、障害年金は申請に基づいて手続きが行われるものであることから、障害年金に関する情報にアクセスできるかどうかということや、申請には医師の診断書が必要となるため、医療へのアクセスや医師とのコミュニケーションといったことが課題として考えられる。このような課題も包括的にとらえるべく実態把握を行い、滞日外国人障がい者への支援のあり方について検討していきたい。

※本報告は平成27～29年度日本学術振興会学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))(課題番号15K03997)「ニューカマーの障がい者のための生活支援システムの構築—滞日ブラジル人の調査から—」(研究代表者: 實田玲子、研究分担者: 木村志保、柿木志津江)の研究成果の一部である。